

# 平成29～30年度国立教育政策研究所 研究指定校【中津市立三保小学校】

## 研究主題

進んで活動して表現し、生活を豊かにする子どもの育成  
～幼児教育での学びを踏まえ、より深い学びを実現していくための指導計画及び指導法の研究～

## 平成29年度の課題

- 低学年らしい思考を生かすような交流場面の設定
- 児童の思いや願いを大事にした学習活動が展開されるような指導の工夫
- 関連した気づきが生まれるように、児童の発話をつなぐ教師のコーディネート力
- 幼稚園等に学ぶ協働体制の在り方

## 平成30年度の研究の重点

### ①生活科における思考力、判断力、表現力等の基礎を育成する指導計画及び指導方法の工夫

- 見付ける、比べる、たとえるなどの分析的に考える力や、試す、見通す、工夫するなどの創造的に考える力が働くような学習活動の工夫
- 多様な表現活動による伝え合いと、発達段階や個人差を踏まえたツール等の活用

### ②個別の気づきを関連付けられた気づきへと質を高めるための対話的な学びの工夫

- 伝える学習活動、意見交換する学習活動、振り返る学習活動の充実と、必要に応じたツール等の活用
- 全体交流の場での言葉かけや板書の構造化等、教師のコーディネート力の向上

### ③幼稚園等との協働研究体制によるカリキュラムの工夫・改善

- 児童の実態を踏まえた、資質・能力表の見直しと改善
- アプローチカリキュラムとの接続を踏まえた新スタートカリキュラムの実践と更なる検証・改善

## 平成30年度の成果と課題

- 繰り返し関わったり試行錯誤して何度も挑戦したりする具体的な活動や体験を行う単元を構成することによる新たな気づきや関連した気づきの創出
- ワークシート・付箋・カード等の活用も取り入れた多様な表現活動とそれを対話に用いることによる気づきの質の高まり
- カードやツール活用時の個人差を踏まえた表現方法の選択と入門期に言葉で書く活動の取り入れ方の難しさ

- 対話を生み出すツール（「お知らせカード」「困っているよカード」）を掲示することによる対話の広がり（同学年・異学年）
- 児童の意見を付箋と共に分類しまとめる板書による気づきの可視化と関連付けの促進
- 全体交流で関連した気づきを生み出すために子供の姿や発言の解釈・判断・言葉かけ等、教師のコーディネート力の更なる向上の必要性

- 実践を重ねて見られた子供の姿を基に資質・能力表をブラッシュアップ
- 全教職員が幼児の発達や学び等を理解する研修として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした保育参観の実施と園児の姿の共有
- 全教職員でスタートカリキュラムを共通理解し学校全体で取り組んだり、幼稚園と協働してカリキュラム・マネジメントしたりする体制の確立
- 入学する子供の実態により即したものにするために2月の時点でのスタートカリキュラムの見直しと具体化